

## 推薦調書（実装部門）（注1）

表彰区分	町・村	推薦都道府県	京都府
地方公共団体名	伊根町		
取組名称	いねばん×いねタク ～行政情報配信システムを活用したドアツードアのオンデマンド交通～		
連携自治体、企業、団体等	株式会社デンソー、順風路株式会社、一般社団法人伊根町ふるさと振興公社		
デジタルを活用した取組の概要 （デジタルを活用した取組の全体概要と解決した個別課題の具体的内容）	（種類）（注2）	①	（左記が①の場合 の分野） 交通
	<p>【デジタルを活用した取組の全体概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伊根町では、防災関連・暮らしの情報など暮らしに必要な情報を誰もが等しく取得できる行政情報配信システム（いねばん）を導入し、府内で唯一、町内の全世帯にタブレット端末を配備している。このいねばんを活用した、ドアツードアのオンデマンド交通（いねタク）を実施している。</li> </ul> <p>【実施に至る経緯・動機】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>少子高齢化が進行したことにより、町内における地域交通を維持することが困難となっている。</li> <li>コミュニティバスを運行することで、地域内の移動手段の確保に努めたが、伊根町は集落が点在しており、運転手の確保や経費面の問題等によりすべてのエリアをカバーするには至らなかった。また、運行本数も制限せざるを得ず、利用者目線に立った運用が出来ていなかった。</li> <li>コミュニティバスの無料乗車券の配布等の工夫も試みたが、利用者数や利用頻度は低調で、コミュニティバスの運行のみでは、地域住民の移動手段確保が十分に図れず、地域公共交通の再編が必要となっている。</li> <li>同時に生じた課題であるアナログ行政防災無線のデジタル化（令和4年度までに対応が必要）に対応するため、音声放送のみかつ電波干渉の危険性も高い行政防災無線に代わり、携帯電話の電波を使用して音声と文字情報等を配信し、受信履歴から何度でも内容を確認することができる「いねばん」を導入。住民情報を符号化した世帯管理システムと連携し、端末の世帯配備の状況も把握できる取組は全国初であり、対象者を絞ったアンケート実施、自治会、小中学校のPTAなど配信先を限定した配信も可能となっていた。</li> <li>このような状況を踏まえ、町内に整備されたデジタル基盤（いねばん）を活用し、乗車場所にとらわれない、プル型サービスで誰もが利用できる新たな地域公共交通システムを構築することとした。</li> </ul> <p>【解決した課題の具体的内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域公共交通の主な利用者である高齢者においては、自宅からバス停までが離れており、移動や外出が困難な状況となっていたが、このシステムを通じて自宅から目的地に送迎できるドアツードアの運行体制を構築した。</li> <li>毎日7:45～21:00まで運行され、利用の1週間前から当日30分前まで予約</li> </ul>		

	<p>受付を可能とすることで、利便性の高い地域公共交通を実現した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い年代の方が簡単に予約操作をできるオンデマンド交通の予約アプリを開発するとともに、いねばん以外（個人のスマートフォン等）からでも予約可能とすることで、更に利便性を高めた。</li> <li>加えて、幹線交通を利用して伊根町を訪れた人にも利用してもらうことにより「ラストワンマイル」の移動手段の確保も実現した。</li> </ul>
デジタルを活用した取組による成果（成果がわかるデータ・数値）	<p><b>【取組が目指すアウトプット】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いねタクの予約件数：令和4年4月実績 581 件 目標：令和4年度 7,500 件、令和5年度 8,500 件、令和6年度 9,500 件</li> </ul> <p><b>【取組が目指すアウトカム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いねタクの利用者数：令和4年4月実績 691 人 令和4年度 9,000 人、令和5年度 10,000 人、令和6年度 11,000 人</li> <li>いねばん・スマホからの予約割合：令和4年4月実績 29% 令和4年度 30%、令和5年度 32%、令和6年度 34%</li> </ul> <p><b>【取組が目指す総合的なアウトカム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町内を走る公共交通利用者数（幹線バスを含む）：令和3年度 38,903 人 令和4年度 46,000 人、令和5年度 55,000 人、令和6年度 65,000 人</li> </ul>
本取組の特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>いねばんは世帯管理システムと連携しており、予約システムに世帯員を登録しているため、いねばん端末からいねタクの利用予約する際に、利用する人を指定して予約申込みをすることができる先進的な取組となっている。</li> <li>いねタクを利用する世帯の自宅の位置情報をシステムに登録しており、「自宅」を乗降場所に登録しているため、ドアツードアのサービスを提供できる。</li> <li>予約があった際には効率的な乗合運行が可能となるように設定されている。</li> <li>高齢者が簡単に予約申込みできるよう、いねタクの予約画面や操作方法など、数タップで完結するよう工夫している。</li> <li>予約した内容は、予約操作の30分後と利用前日17時に確認メッセージがいねばん端末に自動送信され（Webアプリからの予約は除く）、予約を忘れることもないような工夫もしている。</li> <li>観光客向けにWebアプリも整備し、個人端末から利用申込みをすることで、いねタクの利用（予約）ができるようにしている。</li> <li>運行に必要な情報を有する予約システムは、万全なセキュリティ体制のデータセンタで管理している。</li> </ul>
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>世帯管理システムと連携しているいねばんを活用することで、いねタクをイベントや行事など、さまざまな場面で利用することを目指している。</li> <li>いねタクを地域産業（農林水産、観光関連）と連携させて産業振興につなげるとともに、ラストワンマイルとしてのいねタクの利用頻度アップを受けた観光関連産業の起業促進にもつなげていきたい。</li> <li>現在、個人端末からの予約はWebアプリ経由でしかできないが、住民向けに、いねばん端末と連携している個人端末からであれば、Webアプリを経由せず、個人端末のいねばんアプリから利用予約ができないか検討する。</li> </ul>

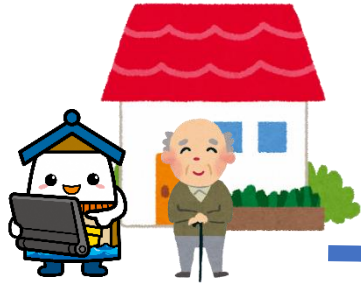
---

注1： 行や列の追加は行わないでください。行や列を拡大していただくのは差し支えありませんが、最大2ページ  
の内で作成をお願いします。

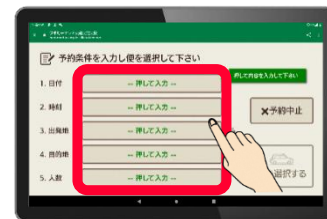
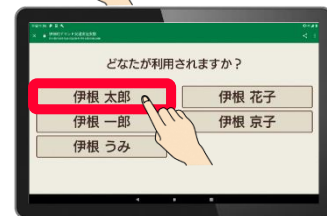
注2： 以下の①または②のいずれかを選択

- ① 域内市町村の取組で、デジタルの活用により、次の個別課題を実際に解決し、住民の暮らしの利便性と  
豊かさの向上や地域の産業振興につながっているもの。  
(・医療 ・教育 ・子育て ・物流 ・交通 ・農林水産業 ・中小企業 ・観光 ・防災)
- ② 域内市町村の取組で、高齢者、障害者などデジタルに不慣れな人々がデジタル機器・サービスの利用方  
法を学ぶことができる環境づくりを既に進めるなど、あらゆる人がデジタル化の恩恵を享受できる、「誰  
一人取り残されない」社会の実現に寄与しているもの。

「いねばん×いねタク ～行政情報配信システムを活用したドアツードアのオンデマンド交通～」 概要図



自宅の「いねばん」から操作



【運行区域】

- ・伊根町内

【予約方法】

- ・いねばん、個人端末（スマホ等）、電話（住民のみ）
- ・利用の1週間前から当日30分前まで

【運行日/時間】

- ・毎日/7時半～21時

【予約方法】

- ・利用者、日時、乗降場所、人数を入力

【補足】

- ・利用者登録が必要
- ・世帯情報と連携（いねばんのみ）
- ・自宅に送迎可（住民に限る）

【いねばん × いねタク】

- ・いねばんが世帯情報と連携しており、利用登録の際、乗降場所に「自宅」を指定できる。
  - ・予約内容を、予約操作の30分後に「いねばん」へ自動送信（音声と文字情報）。利用の前日17時にも、予約内容を自動送信（音声と文字情報）。
- ※観光などで伊根町を訪れた人は、町内の観光案内所や飲食店、宿泊施設にあるチラシのQRコードを読み取り、利用者登録をすることで、いねタクを利用できる。



【乗合】

- ・システムが予約内容から、効率の良い配車を行う。
- ・途中、乗降させながら運行する。



【事業主体】伊根町

【運行】一般社団法人伊根町ふるさと振興公社（委託先）

【システム】株式会社デンソー、順風路株式会社